

会 長	副 会 長	庶務理事	会計理事	事務局長
次 長	課 長	係 長	担 当	受 付
				岡 林



(健 I 97)

令和 3 年 7 月 13 日

都道府県医師会産業保健担当理事 殿

日本医師会常任理事

神村 裕子
(公印省略)

日本医師会認定産業医制度実施にあたっての留意事項—その 3 9—
Web を活用した研修の取扱いについて

日本医師会認定産業医制度では、産業医活動を行うためには新たな知識や技術の修得が不可欠であることから、単位取得による更新制度を設け、産業医の資質向上を図っております。また、単位付与を行う研修会につきましては、研修内容の質向上とともに出席管理などの厳格な運用により、認定産業医の社会的評価の向上につながるよう努めております。

現在のコロナ下において、研修会の中止や受講者数制限等により研修会への参加や認定証更新のための単位取得が困難な状況が続いていることから、認定産業医が個人のパソコン等からオンラインで受講する研修会へのニーズが高まっております。しかし、利便性を重視するあまり、新たな方式の研修会が研修効果の低下、認定産業医制度の社会的評価の低下につながることは避けなければなりません。

受講者の出席管理を適切に行うとともに、受講者が集中力を維持しながら研鑽できる受講環境の確保が不可欠であることから、本会では産業保健委員会での検討を踏まえ、下記のとおり、単位数に関する規定、Web 研修会の要件等について取り扱いをまとめました。

なお、受講者の利便性、研修会の質の担保を考慮し、Web を活用した研修会の在り方は、試行的に研修を行いつつ、随時、見直しをしていきます。

記

1. 「オンライン・個人参加型研修会」の単位の取扱い

(1) 受講者が単位として利用できる数

① 基礎研修会

単位を認めない。

② 生涯研修会

認定産業医更新要件の 20 単位のうち 5 単位以内とする。

ただし、更新と専門のみを対象とする。実地は対象としない。

(なお、5 単位を超えるオンライン・個人参加型研修会の受講自体を妨げるものではない)

2. 単位付与を認める「オンライン・個人参加型研修会」システム

日本医師会では、種々のオンラインを活用した研修会開催のために「日本医師会 Web 研修システム」の開発を進めている¹。

オンライン・個人参加型研修会における認定産業医の単位付与については、「日本医師会 Web 研修システム」を使い、更に顔認証などの本人確認を行う研修会のみ認めることとする（機微情報を取り扱うため、他の研修会システムによる単位付与は認めない）。

今後、日本医師会では、この研修システムを使った研修会の試行実施を重ね、システム全体を検証したうえで、都道府県医師会等に、本システムをできるだけ早い時期に提供していく予定である。

3. 認定産業医の単位を付与するオンライン・個人参加型研修会の要件

下記のような要件で研修会を推進していく。

(1) 主催者

顔認証の情報などを取扱う関係上、下記3つのいずれかとする。

- ① 日本医師会または都道府県医師会の主催
- ② 日本医師会と全国医師会産業医部会連絡協議会²構成団体との共催
- ③ 都道府県医師会と全国医師会産業医部会連絡協議会構成団体との共催

(2) 1回の開催で主催者が申請できるオンライン・個人参加型研修会単位数 最大5単位とする。

例) 2日間のプログラム

1日目 オンライン・個人参加型研修会で5時間

2日目 オンライン・集合型研修会で7時間

(3) 受講者数

各研修会の主催者の実施体制を踏まえ、以下に記載する出席管理の運営や受講環境の確保が適切に行える範囲内の人数とする。

受講者の選定にあたっては、地理的条件等により受講が困難な産業医や更新期限が迫っている産業医をできる範囲で優先的に取り扱う。

¹ 詳細は「日本医師会 Web 研修プロジェクトチーム」まで。電話 03-3946-2121（代表）

² 日本医師会、日本産業衛生学会、労働者健康安全機構、産業医学振興財団、産業医科大学、中央労働災害防止協会

(4) 出席管理

下記の①と②いずれも満たすことを要件とする。遅刻・早退は原則、認めない。

① 本人確認

認定産業医研修会について顔認証などの本人確認を導入する予定である。研修会当日に、受講者のパソコンやスマートフォンなどのカメラ機能により、受講者本人の顔映像と顔写真付身分証明書³（医師資格証や運転免許証など）を撮影いただき、Web上で本人確認を行うシステムを導入する方向で現在準備を進めている。

② 受講管理

下記の両方またはいずれかの方法で受講管理を行う。

- ・演題毎に入場と退場をログで管理する。
- ・簡単な質問への回答等

講義中ランダムな時間に講師または主催者が受講者にキーワード等を示し、受講者から返信してもらう。

(5) 受講環境等への配慮

対面・集合型の研修と極力同じ環境を提供することが重要であり、主催者は下記に則って研修会を企画・運営する。

① 座長等（進行役）の配置

円滑な運営や良好な受講環境の維持に努め、さらには不測の事態が発生した際に速やかに対応することが重要であることから、講義発信場所に座長または司会者を配置することが望ましい。

② 質問への対応

双方向性を確保する。または、後日、メール等にて回答する。

③ 抄録の事前配布

研修効果の向上とともに、通信障害により映像が途切れるなどの不測の事態に対処するためにも抄録を事前に配布する。

④ 休憩の設定

集中力を確保するため、各講演の間に休憩を設ける。

⑤ 音声と映像

音響・映像設備の整ったスタジオ利用等のクオリティ管理により、快適な受講環境の確保に努める。

⑥ デジタル機器操作を不得手とする受講者への配慮

インターネット環境等に関する相談受付や事前の丁寧な操作説明、ハイ

³ 将来的には本人確認は医師資格証に限定していく方針。

ブリッド開催等の工夫により受講を躊躇わない環境づくりに努める。

⑦ システムダウン等への対応

専門知識や技術のある者の配置やバックアップシステムの構築、さらには外部の専門業者に協力を得ることも検討する。システムダウン等で1単位60分の受講ができなかった受講者には単位の交付は行わないので、システムダウン等により受講者にとって不利益が生じないように、専門業者への委託などにより、万全の体制を構築する。

(6) 講師に伝える留意事項

① 画面の共有

講義の理解度向上のため、スライドの画面共有をすることが望ましい。

② 機微な情報の取扱い

より良い研修とするために、受講者限りとして機微な情報を伝えることがある。オンライン・個人参加型研修会の場合には録画されるリスクもあるため、講師に講義を依頼する際には、機密情報の取り扱いに留意するよう講師に伝える。

(7) 受講者に伝える注意事項

① 更新において認められる単位数

20単位のうち5単位 (1. (1)参照)

② 顔認証を行うデバイス

受講者の画像が撮影可能なカメラ付のデバイス (パソコン、スマートフォン、タブレットなど) で行う。③と同じデバイスである必要はない。

③ 講義を視聴するデバイス

パソコンまたはタブレットによる視聴とする。スマートフォンは対象外とする。

④ 受講環境

必要な機器と通信環境は受講者の責任と費用で準備する。

⑤ 録音・録画の禁止

講義内容の録音・録画は禁止する。

⑥ 不正行為の禁止

本人以外の者が受講する等の行為が発覚した場合、単位付与を行わない。

(8) 受講単位の証明

オンライン・個人参加型研修会の受講証明は、受講完了後に表示される修了証とする。

(9) アンケートの実施

研修会参加者に受講環境に関するアンケート調査 (別途通知) を行い、その結果を日本医師会に報告するとともに今後の研修会の改善に活用する。

4. サテライト型研修会の弾力化

「日本医師会認定産業医制度実施に当たっての留意事項ーその 28ー」（平成 24 年 2 月 9 日付地Ⅱ 234）において、サテライト会場での受講管理者配置、メイン会場と同等の受講環境の確保などの要件を満たした場合、都道府県医師会の TV 会議システムを活用した研修会を認定研修会として認めている。

今後は、留意事項 28 の要領に準じていれば、都道府県医師会や郡市区医師会以外の場所をサテライト会場とすることも差し支えないこととする。

既に承認されている研修会をサテライト型に変更する場合には、個別に相談されたい。

5. ハイブリッド型研修会

実施要領に基づいた研修会であれば、従来の方式（対面・集合型）、オンライン・個人参加型、サテライト型を組み合わせた「ハイブリッド型研修会」の開催を認める。

ただし、それぞれの特性を踏まえ、受講者の不利益とならないよう、受講者数、開催方法の組み合わせ、認定単位数については十分に留意されたい。

<用語の定義等>

- **対面・集合型研修会**

ひとつの会場に講師と受講者が一同に集まって、すべての受講者が同一時刻に同一プログラムを受講する研修会。

- **サテライト型研修会**

対面・集合型研修会をメイン会場で開催すると同時にオンラインで繋いだ別会場をサテライト会場とするもの。複数の会場に受講者が集合する研修会で、各会場に受講管理者を置くこととする。同一時刻に同一プログラムを受講する。

- **オンライン・個人参加型研修会**

受講場所を特定せず、Zoom などを活用し、受講者が個人所有のデバイスにより個別に Web で受講する研修会。同一時刻に同一プログラムを受講する。

- **ハイブリッド型研修会**

上記の研修会を組み合わせで開催する研修会。同一時刻に同一プログラムを受講する。

【参考】 オンデマンド

講義をあらかじめ録画して Web に掲載し、受講者が自身の都合の良い時間に自由にプログラムを視聴できるもの。視聴する日時とプログラム内容

は受講者によって異なる。

オンデマンド方式の研修会は、認定産業医研修会として認めていない。

【講義の提供方法】

最新の情報を提供するという観点から認定産業医研修会では録画による講義提供は認めていない。ただし、研修のなかで補助教材として録画した素材を活用することは可能。

以上